**「わくわく算数」観点別特色一覧表**

(1)学習指導要領への対応

| 項目 | 観　点 | 特　色 | 事　例 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1  目  標  と  取  り  扱  い  内  容 | ①学習指導要領改訂の趣旨を踏まえつつ，教科書の改訂がされているか。 | ①数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と，数学的な思考力・判断力・表現力等を高めるなど，数学的に考える資質・能力を育成し，児童にとってより学びやすく，指導者にとってより指導しやすくなるように，教科書の構成・展開が見直されている。 | ●すべての児童が学習する必修内容の『本編』と，個に応じて取り組める選択内容の『学びのサポート（じゅんび・もっと練習・算数資料集）』との**2部構成になっており，一人一人の学びに対応**できるように配慮されている。＜例＞2上p.121～／3下p.115～／4上p.139～／5年p.247～／6年p.249～  ●**巻頭に『教科書の使い方』『学習の進め方』『わくわく算数学習』『わくわく算数ノート』**が設けられ，問題解決型の学習を通して，自分の考えを書いたり話したりして理解が深まっていくことを体得しながら，よりよく考える資質・能力を伸ばしていくことができるように配慮されている。また，巻末『学びのサポート』の『算数資料集』には，『わかりやすい説明の仕方』『図のかき方』『算数でよく使う考え方』などが整理して掲載されている。＜例＞2上p. 2-9，136-139／3上p.2-9，148-151／4上p.2-9，158-161／5年p.2-9，280-285　など  ●解決の見通しをもったり，その過程を振り返ったりして児童が主体的に学習を進められるように，学習の**『めあて』や『まとめ』が設定**されている。**『めあて』につながる児童の主体的な考えや気づきは，『双葉マーク学びのめばえ』として強調**されている。  ＜例＞2上p.118-119／3上p.42-43／4下p.6-7／5年p.62／6年p.134-135　など  ●5，6年では，「全体の中で，統合的・発展的に関係性をとらえることのできる子ども」像を想定し，児童自身が1年間の学習を見通したり，既習内容を振り返ったりしながら学習が進められるように，年間1冊の合冊で構成されている。2～4年は発達の段階を考慮して上下巻の分冊で構成されている。学習内容の少ない1年は，前の学習を手本にしながら新しい学習を進めるというスタイルを取りやすいように合冊で構成されている。  ●**年間配当時数が160時間以内**（1年は127時間）で，標準時数よりも余裕をもたせて無理なく学習を進められる設定がなされている。 |
| ②算数科の目標をどのようにとらえて編集されているか。 | ②児童の深い学びと知的で質の高い活動を支える資質・能力を最大限に伸ばすことを基本にすえて，次の3点を具体的な目標として設定されている。  ・主体的に算数を生活や学習に生かし，日常の事象を数理的に処理する基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得すること。  ・見通しをもち筋道を立てて考える力を育て，ものごとを合理的によりよく考え，問題解決の過程や結果を適切に評価・改善できる力を養うこと。  ・新しいものごとを創造しようとする態度，学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度，算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度などを養うこと。 | ●児童の主体的な学びを支えるために，児童の関心や問題意識を高める工夫や児童が自ら考え調べる活動の設定などがされている。その上で，**新しい知識・技能を獲得し確実に定着できるように，『練習』『たしかめよう』『もっと練習』などが設定**され，一人一人の学びに応じることができるように配慮されている。  ＜例＞2上p.29（練習），p.32（たしかめよう），p.128（もっと練習）　など  ●数学的に考える資質・能力を育成するため，数学的な見方・考え方を働かせて考える場面が各単元に設定されている。さらに，**筋道立てて考える力を一層伸ばすために，『イルカマーク学びを深めよう』が設定**され，問題解決の際に有効な考え方（思考法）や図・表などのかき方（基礎操作）が系統的に取り上げられている。  ＜例＞2上p.116-117／3上p.36 -37／3下p52-53／4下p.32-33／5年p.184-185／6年p.178-179　など  ●学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする創造的な態度や学んだ算数を生かそうとする態度を培えるように，獲得した知識・技能を活用する機会が多く設定されている。単元末や学期末には，**様々な素材を扱った豊かな活用の場面『学びをいかそう』が設けられている**。  ＜例＞1年p.103，2上p.33，6年p.143（やってみよう）／3上p94-95（算数の自由研究）／5年p.92-97（わくわく算数ひろば）／4上p.98-99(算数ラボ)／5年p.186-187（見積もりを使って）／5年p.238-239（よみとろう）など |
| ③児童が数学的な見方・考え方を働かせ，主体的に数学的な活動に取り組むなどの学習の質を向上させることに配慮されているか。 | ③児童が問題意識をもって主体的に算数に取り組めるように，日常生活から問題を見いだすなどの数学的活動が積極的に取り入れられている。 | ●新しい学習にはいる単元導入段階では，日常生活や既習の学習と関連付けて，**児童自らが課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面（単元とびら）を設定**することにより，児童の主体的な学習を引き出す工夫がされている。＜例＞2上p.88／3上p.10／4上p.38／5年p.112／6年p.112　など  ●**各時間の学習に『めあて』や『まとめ』が設定**され，児童が見通しをもったり振り返ったりしながら主体的に学習が進められるように配慮されている。  ＜例＞2上p.53／3上p.26／4下p.2-4／5年p.38-39／6年p.38-39　など |
| ④児童が数学的な見方・考え方を働かせ，対話的な学びを通して考えを交流させながら，学びを深めていけるように配慮されているか。 | ④解決にいたる過程と考え方を説明する活動や判断の拠り所について話し合う活動などの言語活動が系統的に扱われ，数学的な思考力･表現力や主体的**・**協働的に探究しようとする態度などが身につくように配慮されている。 | ●1年の巻末に『かぞえかた』として助数詞の一覧が掲載されており，ものの正確な数え方が身につくように配慮されている。　＜例＞1年p.172-173  ●2年以上の**巻頭には，『学習の進め方』『わくわく算数学習』を続けて設定**し, 『みんなで話しあおう』として対話による考えの交流のようすが具体的に示されている。さらに，その直後には，**『わくわく算数ノート』が掲載**され，書いて考えを深める力の育成に役立つように配慮されている。  ＜例＞2上p.4-9／3上p.4-9／4上p.4-9／5年p.4-9／6年p.4-9　など  ●2年以上の巻末に設定された『算数資料集』『わかりやすく説明しよう　友だちの考えをよく聞こう』では，考えを伝えるときのわかりやすい説明の仕方がまとめられ，**筋道立てて説明する力やポイントを押さえて聞く力などを育成**できるように配慮されている。  ＜例＞3上p.148-149／4上p.158-159／5年p.280-281／6年p.276-277　など  ●新しい演算を学習した後には，いくつかの演算が混じった『どんな計算になるのかな』（1年は『たすのかな　ひくのかな』）を設定して，**演算決定の根拠を説明する言語活動が系統立てて扱われている**。  ＜例＞1年p.148-149／2上p.96-97／3上p.92-93／4下p.56-57／5年p.94-95／6年p.88-89　など |
| ⑤数学的活動を通して，数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につくように配慮されているか。 | ⑤児童の思考と学習展開に大きなへだたりが生じないようにスモールステップの展開になっているなど，基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着できるように配慮されている。 | ●**道具の使い方や作図の仕方などは，手順を細かく分割した連続写真（必要に応じて動画等も用意）を用いて提示**してあり，基本的な知識・技能が確実に身につくように配慮されている。＜例＞2上p.40-41（直線のかき方）／3下p.4-5（コンパスの使い方）／4上p.72-73（垂直・平行な直線のかき方）など  ●低学年の計算領域では，練習問題の第1問目が主問題に極めて近い問題に設定されており，**細かいステップをふんで知識・技能が確実に身につく**ように配慮されている。  ＜例＞2上p.51 ４「34＋28」→△5①「34＋29」，3上p.39 １「154＋237」→△2①「154＋218」　など  ●各単元末の「たしかめよう」には観点別評価問題が設定され，各問題の設定意図と対応する本文の該当ページを示して知識・技能が確実に身につくように配慮されている。  ＜例＞2下p.78／3上p.73／5年p.122など  ●本文ページの練習問題に加えて，**巻末に2段階のレベルの『もっと練習』が設けられ，習熟度別学習など，実態に応じて柔軟に補充できる**ように配慮されている。関連する『もっと練習』の問題は本文のページ下部とリンクしていて，適宜扱えるようになっている。  ＜例＞2下p.8→巻末「もっと練習」p.126　など  ●**各学期の中間・期末にあたる時期に『復習』が設定**され，その学年や前の学年の内容だけでなく，習熟が必要な計算問題などはさらに前の学年に遡って取り上げられ，基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着するように配慮されている。また，**全国学力調査等で正答率の低かった問題には★マークをつけて，意識して取り組めるように工夫**されている。  ＜例＞3上p.50-51／6年p.92-93　など |
| ⑥数学的活動を通して，見通しをもち筋道立てて考察する，考察したことをわかりやすく説明するなどの数学的な思考力･判断力･表現力等が育つように配慮されているか。 | ⑥児童が自分で考えて解決する場面が設定され，それを促進・継続する工夫を多く施すなどして，自力解決を通して数学的な思考力・判断力・表現力等の資質・能力が伸ばせるように配慮されている。 | ●**思考の助けとなる図，表，式などを多く例示**し，**話し合いの場面では，根拠や手順などを説明する活動**を通して数学的な思考力や表現力の育成が図られている。  ＜例＞2下p.58-59／3上p.34-35／4下p.32-33／5年p.124-125／6年p.124-125　など  ●『イルカマーク学びを深めよう』では，**問題解決の際に有効な考え方（思考法）や図，表などのかき方（基礎操作）が丁寧に記述**してあり，児童がそれらを使って問題を解決する力が伸ばせるように配慮されている。  ＜例＞2上p.66-69，116-117／3上p.34-35，／4下p.32-33，／5年p.234-235／6年p.178-179 など  ●4年以降では，**算数・数学で大切となる「類比」「帰納」「演繹」の考え方**が，それぞれ「にている」「きまり」「もどる」のロゴをつけて示され，巻末にはそれらが**『算数でよく使う考え方』としてまとめられており，児童が問題解決の際に活用できる**ように配慮されている。  ＜例＞4上p.94，130-131，4下p.78，136／5年p.36，282-283／6年p.178-179，278-279 |
| ⑦数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き，学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度，学んだことを生活や学習に活用しようとする態度が育つように配慮されているか。 | ⑦身に付けた知識を総合的に活用する場面が設けられるなど，学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度，算数で学んだことを主体的に生活や学習に活用しようとする態度（学びに向かう力）の育成が図られている。 | ●児童の主体的な学びとなるように，課題発見につながる子どもの考えや気づきを『双葉マーク学びのめばえ』として取り上げている。  ●**多様な考え方を充実させ，話し合いの場面も適宜設定することで，主体的・対話的で深い学びが実現できる**ようにしている。また，そのモデルが巻頭の『わくわく算数学習』で示されている。  ●既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面には自分の力でというマークがつけられ，児童が主体的に学習を進めていけるように配慮されている。＜例＞2下p.31／3上p.47／4上p.45／6年p.22-23　など  ●3年以上には，**学んだことを活用して身の回りの生活改善をPDCAサイクルに則って計画し，実践する『みらいへのつばさ』**が設けられている。  ＜例＞3下p.106-109（健康）／4下p.110-113（環境）／5年p.238-241（食育）／6年p.204-207（国際協力）  ●活用のページとして，『算数ラボ』『算数の自由研究』などが設定され，**探究的学習を実践しようとする態度**が育つように配慮されている。＜例＞3上p.94-95，3下p.54-55／4上p.98-101／6年p.90-91，182-183　など  ●『みらいへのつばさ』『どんな計算になるのかな』『やってみよう』『さがしてみよう』などで，**日常生活に算数の知識・技能を活用する活動**が設定されている。  ＜例＞3上p.92-93，3下p.11，35，106-109／6年p.19，35，204-207　など  ●単元末の『ふりかえろう』には，**単元全体を通した総括としての感想をかく場が設定**され，算数のよさを感得し，進んで活用しようとする意欲や態度が育成できるように配慮されている。  ＜例＞2上p.47，61／4下p.17，31／6年p.25，35　など |
| ⑧必要なデータを収集・分析し，その傾向を踏まえて課題を解決するなど，社会の進展や変化に対応できる能力や態度を身に付けられるように配慮されているか。 | ⑧多種の情報の中から必要な情報を取り出して，そこから読み取れることを的確に解釈し関連づけるなどの統計的な問題解決の場面が扱われている。 | ●情報を適切に解釈し，取捨選択したり，また関連づけたりするなどの力が養えるように，活用のページ**『みらいへのつばさ よみとろう』では，資料や長文のよみとり**が取り上げられている。  ＜例＞3下p.106-107／4下p.110-111／5年p.238-239／6年p.204-205  ●複数系列のグラフ（2本の折れ線グラフ）や組み合わせたグラフ（棒グラフと折れ線グラフ）に関する内容の新設など，**統計的な学習内容の改善・充実**が図られ，問題を統計的に解決する力がつくように配慮されている。  ＜例＞4上p34-35，37／5年p.204-205　など |
| ⑨プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動への配慮がされ，コンピュータ等を活用することで，児童の理解がより深まるような工夫があるか。 | ⑨児童が計算処理や作図におけるアルゴリズムを体験したり，コンピュータを活用して簡単なプログラムを構成したりしながら，論理的な思考力を身につけられるような場面が設定されている。 | ●**プログラミング的思考が育めるような内容**について，その初出場面にPマークがつけられ，児童も教師も意識できるように配慮されている。  ＜例＞1年p.127／3上p.39／4上p.40-41／5年p.102，236-237／6年p.96，182-183 など  ●4年『1けたでわるわり算の筆算』では，プログラミング的思考として，わり算の筆算のアルゴリズムの手順が強調され，最後に「おろすものがなくなると，おわり」という吹き出しが示されている。  ＜例＞4上p.40-41 |
| 2  指  導  計  画  作  成  上  の  配  慮  事  項 | ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のための配慮がされているか。 | ①自分で考えたり調べたりして，深くわかったときの喜びや学びをつくりあげるおもしろさを味わうことを大切にして，価値ある数学的活動が積極的に取り入れられている。 | ●単元導入などは，日常の事象や既習事項から問題を見いだすような場面になっており，問題解決を通して理解が深まっていくように構成されている。『学びをいかそう』では，日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り入れられている。  ●**『図を使って考えよう』の単元等で図の見方やかき方が丁寧に扱われ，巻末の算数資料集にも『図のかき方』を掲載**するなど，数学的活動の一層の充実に向けての配慮がなされている。　＜例＞2上p64-65，138-139／3上p.34-35，150-151／4下p.32-33，134-135／5年p.124-125，284-285　など  ●『学びをいかそう やってみよう』では，学習したことを算数や生活に生かして，算数の有用性を実感できるように配慮されている。  ＜例＞3上p.33，57，129／4上p.37，64，135／5年p.27，51，73／6年p.25，35，111　など  ●『算数ラボ』では，学習したことを基に実際の活動を通して確かめることによって，算数の面白さを実感できるように配慮されている。＜例＞3下p.54-55／4上p.98-99／5年p.236-237／6年p.182-183　など |
| ②知識・技能などの定着と維持を図るために，継続的な指導や学年間の円滑な接続のための配慮がされているか。 | ②繰り返し指導や反復(スパイラル)などの継続的な学習を通して，知識・技能が定着・維持できるように配慮されている。 | ●2年以降では，学習する単元の内容に関連する既習事項が巻末に『じゅんび』として取り上げられ，**新しい単元に入る前にレディネスチェックできる**ように配慮されている。  ＜例＞3上p.104「あまりのあるわり算」の前にp.137で「わり算の意味やその計算」を扱う／  5年p.128「面積」の前にp.251で「長方形・正方形の面積」や｢四角形の性質」を扱う　など  ●各学期の中間・期末にあたる時期に『復習』を配置して，その学年や前学年の内容だけでなく，**習熟が必要な計算問題などはさらに前の学年に遡って取り上げ，定着・維持ができる**ように配慮されている。  ＜例＞3上p.50-51／6年p.92-93　など  ●各時間の練習問題・適用問題に加えて，**巻末に2段階のレベルの『もっと練習』のページが設定**され，個に応じて知識・技能の定着と維持が図れるように配慮されている。  ＜例＞2上p.126-135／3下p.120-129／6年p.256-275　など |
| ③複数領域の内容を関連づけて活用するなどの配慮がされているか。 | ③ある領域で学習した内容を他領域での学習場面で活用するなど，複数の領域間の指導の関連が図られている。 | ●「C 測定」領域（1～3年）の学習内容は，4年以降においても活用されている。  ●『小数のかけ算』の学習で，既習の面積や体積の公式を取り上げ，小数に拡張しても図形の公式が使えることを調べる場面がある。また，面積や円周の学習で，比例の関係を調べる場面がある。  ＜例＞5年p.44-45，147，198／6年p.33，50-51　など |
| ④保育園・幼稚園や中学校との連携について配慮されているか。 | ④小1プロブレムや中1ギャップへの対応，中学校でつまずきやすい内容について配慮し，保育園・幼稚園や中学校との円滑な連携が図られている。 | ●**スタートカリキュラムに対応して，1年巻頭に『わくわく すたあと』が設定**されている。『わくわく すたあと』は，書き込みやすい特別な用紙が使われ，内容が3段階のアイコンで示されている。  　＜例＞1年表見返～p.17  ●5，6年では，年間1冊という中学校と同じ合冊の形態をとっており，中学校での学習形態の素地経験ができるように配慮されている。また，**中学校で学習する内容についても『数学へのとびら』や『中学校で学ぶ「数学」の簡単なしょうかい』**で触れられている。  ＜例＞5年p.111/6年p.228～230  ●中学校でつまずきが多く見られる文字式については，小学校で素地となる内容が1～6年を通して，具体から徐々に抽象化するよう系統的に取り扱われている。  　＜例＞2上p.29（□に色々な数字カードをあてはめて計算する）／3下p.94-99（□を使った式）／4下p.88（言葉の式→，を使った式→○，△を使った式）／5年p.228-233（表→○，△を使った式）／6年p.26-35（文字を使った式）　など |
| ⑤特別支援教育，色覚特性，人権，福祉，ジェンダー，国際理解などへの配慮がされているか。 | ⑤特別な支援や配慮を必要とする児童にとっても分かりやすくなるように構成されている。また，色覚特性，人権などの専門家の監修のもと，社会的な人権差別や性差別を助長することがないように配慮されている。 | ●**認識しやすい文字（ユニバーサルデザインフォント）を使用**する，主問題や重要文を枠で囲んで見やすくする，1文節が2行にまたがらないようにして読み取りやすくする，学習の『めあて』や『まとめ』を明記するなど，**ユニバーサルデザインを採用**しており，すべての児童が支障なく学習できる環境づくりを目指す**インクルーシブ教育に対する配慮**がされている。  ＜例＞3上p. 67／5年p.118-119／6年p.124-125　など  ●**拡大教科書や，文字の拡大・色反転・読み上げ機能等のあるデジタル教科書を用意**し，多様な子どもたちの学習に対応できるようにしている。  ●判別しにくい配色を避けたり，シンプルなイラストを扱うなどの**カラーユニバーサルデザイン（CUD）が採用**され，色覚特性をもつ子どもに対する配慮がされている。  ＜例＞2上p.44（2本の道に記号をつける）／2下p.92（位取り板の配色）　など  ●登場するキャラクターなどの性別で役割や言葉遣いを区別しない，女性は赤色・男性は青色といった固定的なイメージで性の区別をしない，男女の比率を均等にするなどの配慮がされている。  ●**他国の文化を紹介する題材や国際協力についての題材，オリンピック・パラリンピック教育につながるような題材**を取り上げている。  ＜例＞3下ｐ.73，6年p.204-207，3下p.54-55，6年p.66など |
| ⑥道徳の時間などとの関連について，算数科の特質に応じた配慮がされているか。 | ⑥算数科の特質に応じて，物事を多面的・多角的に考える資質・能力を育成するとともに，道徳的な観点の素材が多く取り扱われている。 | ●説明する場面や話し合いの場面では，**自分の考えや意見を相手に伝えるとともに，自分と異なる意見や立場も尊重**できるように配慮されている。また，他者の考えを尊重する，協働してよりよい考えを追究する態度につながる**「です・ます」調の丁寧な言葉遣い**をするなど，教科書全体にわたり道徳教育や人権教育の配慮がされている。　＜例＞3上p.6-7／4上p.6-7　など  ●「町内のそうじ」や「ペットボトルのキャップ集め」などのボランティア活動を取り上げ，**公共に寄与する態度が養える**ように配慮されている。　＜例＞2上p.48／5年p.154　など |
| ⑦学習を豊かにするためのICTの利活用に配慮されているか。 | ⑦ICTの利活用が有効な場面では紙面にQRコードを掲載し，児童の学習を豊かにするようなコンテンツを準備している。 | ●**紙面にQRコードを掲載し，ICT機器を使った学習のサポートができる**ような動画，補充問題等の参考情報を準備している。特に，単元の入口では，『じゅんび』に関する情報を，単元の出口には，『たしかめよう』に関する情報が用意されている。（QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように裏表紙にURLが記載されている。）  　＜例＞1年p.2，10，93／2上p.10／3上p.10，43／4上p.10／5年p.10，225／6年p.10，45　など |

(2)教科書の構成上の工夫

| 項目 | 観　点 | 特　色 | 事　例 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1  資  質  ・  能  力  の  育  成  ・  向  上  へ  の  対  応 | ①算数に対する興味・関心を高め，学ぶ意義を児童が感じられるような配慮がされているか。 | ①日常生活への算数の活用を通して，算数の有用性を実感できるように配慮されている。また，キャリア教育に対応したページも設定されている。 | ●『みらいへのつばさ』『どんな計算になるのかな』『やってみよう』『さがしてみよう』などが設定され，**算数と日常生活との関わりを実感**しながら学習が進められるように配慮されている。＜例＞1年p. 138／2下p.47／  3上p.92-93／3下p.11，35，106-109／4下p.100-102／5年p.225／6年p.19，35，p.171，204-207　など  ●**キャリア教育に対応した6年巻末の『ひろがる算数』は，様々な職業の人に算数・数学がどのように役に立つかをインタビュー**した内容が掲載され，児童自身が算数の有用性と学ぶ意義について考え，中学校以降の学習に興味・関心をもてるように配慮されている。　＜例＞6年p.234-248 |
| ②各種学力調査への対応について配慮されているか。 | ②基礎，基本の問題はもちろん，全国学力・学習状況調査などで求められるPISA型読解力を育成する場面が多く設定され，数学的な思考力・判断力・表現力が育つように配慮されている。 | ●**過去に出題された全国学力・学習状況調査問題の研究・分析**により，定着しにくい基礎的・基本的な問題は学年を越えて繰り返し扱う，活用の問題を多く取り上げるなど，つまずきやすい内容が確実に身につくように配慮されている。また，高い無解答率への対処として，理由などを記述する場面が随所に設けられている。  ＜例＞4下p.59 ②面積が等しくなる理由／5年p.72△5 問題を正しく表した図の選択 など  ●『みらいへのつばさ　よみとろう』で，文章やグラフ・表などの読解と思考・判断の根拠などを説明する問題を扱い，連続型テキスト，非連続型テキストなどの**PISA型読解力が養えるように配慮**されている。  　＜例＞2下p.114-115／3下p.106-107／4下p.110-111／5年p.238-239／6年p. 204-205  ●全国学力・学習状況調査で課題が明らかになった**「割合」に関する指導についての系統が大幅に見直され**，学年の段階に応じて適切に配列されている。 ＜例＞3下p.14-19／4上p.118-123，p.160／4下p.50-51／5年p.48-49，p.172-183，p.200-209，／6年p.6-7など |
| ③家庭学習や授業時間外などの自学自習などを通じて学習習慣が身につくように配慮されているか。 | ③児童が自ら取り組む際のヒントになる手立てを示すなど，自学自習のための配慮がされている。また，家庭学習についても，保護者の協力のもと学習習慣をつけられるように配慮されている。 | ●学習習慣が確立できるように，**自学自習ができる教材が巻末の『学びのサポート』に多く掲載**されており，土曜日授業や授業時間外の学習の教材としても扱うことができるように配慮されている。  ＜例＞2上p.121～／3上p.133～／4上p.139～／5年p.247～／6年p.249～  ●本文ページの最下部に『もっと練習』へ導くリンク先のページ番号が示されていることや，解答が掲載されていることで，**家庭学習などに対応できる**ように工夫されている。  ＜例＞2下p.8／3上p.15／5年p.12　など（ほぼ毎時間）  ●**2年生以上の夏休み直前に『算数の自由研究』が設定**され，児童が自由研究に取り組みながら，自主的に探究していけるように配慮されている。  ＜例＞2上p.98-99／3上p.94-95／4上p.100-101／5年p.96-97／6年p.90-91　など  ●**各学年の裏表紙に保護者へのメッセージ**が掲載され，保護者の協力のもとで家庭での学習習慣を身につけられるように配慮されている。　＜例＞各学年裏表紙 |
| ④少人数学習・習熟度別学習など個々の児童の理解の程度に応じた学習への配慮はされているか。 | ④児童の興味・関心や進度などに応じて柔軟に扱える教材を用意するなど，個に応じた学習が進められるように工夫されている。 | ●少人数学習や習熟度別学習としても扱える学習課題として，巻末の『学びのサポート』に様々な教材が用意されている。**『じゅんび』でレディネスチェック**が行えたり，**『もっと練習』で基本の補充問題と少しレベルの高い挑戦問題**に取り組めたり，習熟度や個に応じて選択して学習を進められるように配慮されている。  ＜例＞2上p.121～／3下p.115～／4上p.139～／5年p.247～／6年p.249～  ●学習指導要領の範囲外などの発展的な内容についてははってんマークが付され，児童の興味・関心に応じて学習が進められるように配慮されている。  　＜例＞／2下p.79／3下p.46／4上p.65　など |
| ⑤児童自身の自己評価や相互評価など，評価活動についての配慮はなされているか。 | ⑤学習者の立場からは自己評価や相互評価に役立ち，指導者の立場からは3つの観点での評価に役立つページが設定されている。 | ●各単元末の『たしかめよう』では，問題の設定意図と関連ページを示す，チェックボックスを設ける，4年以上には解答を掲載するなどにより，**児童自身の自己評価や相互評価などができる**よう配慮されている。  ＜例＞1年p.102-103／2上p.32-33／3上p.32-33／4上p.36-37／5年p.50-51／6年p.70-71　など |
| ⑥カリキュラム・マネジメントへの対応が配慮されているか。 | ⑥3学期制はもとより，2学期制など柔軟なカリキュラムへも対応できるように配当時間数および単元の配列が配慮されている。 | ●3学期制，2学期制いずれの場合にも，**学期の切れ目が単元途中にならないように単元配列が配慮**されている。  ●**学期末には『復習』と『わくわく算数ひろば（活用単元）』を設定**して，学期のまとめとして扱えるように工夫されている。  ●**『練習』『復習』は3つのブロックに分けて構成し，短時間学習・モジュール型学習にも対応**できるように構成されている。  　＜例＞2上p.62-63，5年p.43，p.98-99など  ●余裕をもたせて各学期の時間配当をするなど，カリキュラムの変更にも対応できるよう配慮されている。 |
| ⑦他教科および総合的な学習の時間との関連について配慮されているか。 | ⑦教材の選定にあたっては，算数だけでなく，他教科との連携も十分に配慮されている。 | ●次にあげる例のように，他教科との関連に配慮がされている。  【国語】1年巻末に助数詞の一覧表が掲載され，正しくものが数えられるように構成されている。3年以降の上巻末には，第2学年国語科で学習する「はじめに」「次に」「だから」などの接続詞がまとめて掲載されている。　＜例＞1年p.172-173／3上p149　など  【社会】『都道府県の人口』『世界の国々の人口』『県予算,国家予算』『ごみの処理』などが題材として取り扱われている。　＜例＞3上p.61／4上p.54-56  【理科】4年の『折れ線グラフ』単元が早い時期に設定され，理科での実験・観察に活かせるようになっている。また，ベテルギウスや古生代の生物などが取り上げられている。  ＜例＞4上p.26～27／5年p227／6年p242-243　など  【生活】1年『わくわく すたあと』は，スタートカリキュラムに配慮し，生活科の学校探検と密接にかかわらせながら楽しく算数が学べるようになっている。　＜例＞1年p. 表見返-17  【音楽】ピアニストによる算数の話が載せられている。  ＜例＞6年p238-239  【図工】アーティストによる算数の話が載せられている。  ＜例＞6年p236-237  【家庭】『オーロラソースづくり』などが題材として取り上げられている。  ＜例＞6年p.112-113，244-245  【体育】『好きなスポーツ』や『ソフトボール投げの記録』などが題材として取り扱われている。  ＜例＞4下p.108／6年p.72-73，240-241　など  【外国語】シドニーの気温や世界の人口などを題材として取り扱い，ごみをへらすための3つの「R」が英語の頭文字をとったものであることが紹介されている。  ＜例＞4上p.34，54-55　など |
| ⑧我が国の伝統文化の尊重への配慮がなされているか。 | ⑧我が国の伝統文化を尊重するという立場にふさわしい内容が扱われている。 | ●世界遺産の『平等院鳳凰堂』や伝統工芸の『金箔づくり』など，**伝統文化の尊重にふさわしい内容**が取り上げられている。  ＜例＞4上p10，138／5年p.94-95／6年p.10-11，144，　など |
| 2  内  容  の  程  度  と  教  材  ・  素  材 | ①学習内容の理解を図る工夫がされているか。 | ①内容の理解が図れるよう，児童の発達段階や内容の系統性に考慮するなど教材や展開の仕方が工夫されている。 | ●単元導入では，既習の内容をもとに発展的に考えていける題材が多く選ばれている。また，**単元の最後に『ふりかえろう』として，これまでに学習したことを統合的・発展的に見直す機会**が設けられている。  　＜例＞3上p.58／4上p.34／5年p.123／6年p.123など  ●新しい演算を学習した後には，複数の演算が混じった**『どんな計算になるのかな』（1年は『たすのかな　ひくのかな』）が設定してあり，演算の意味理解が深まる**ように配慮されている。　＜例＞1年p.148-149／2上p.96-97，2下p.62-63／3上p.92-93／4下p.56-57／5年p.94-95／6年p.88-89　など  ●**巻末に『もっと練習』として，各単元の『練習問題」『挑戦問題』をまとめて配置**することで，学習内容の確実な定着ができるように配慮されている。  ●用具の使い方や作図の仕方などが見開きで連続写真等を用いて丁寧に示され，確実に身につくように配慮されている。　＜例＞2上p.40-41（直線のかき方）／3下p.4-5（コンパスの使い方）／4上p.72-73（垂直や平行な直線のかき方）／5年p80-81（合同な三角形のかき方）など  ●1年の時刻のよみに関する内容は『なんじ なんじはん』と『なんじ なんぷん』の2つの単元に分けて，数の範囲の拡張に合わせてステップをふみながら，時計の長針と短針に着目して学習が進められるように構成されている。　＜例＞1年p.80-81，144-146  ●6年の『比例と反比例』については，5年で学習した『比例』で定義をまとめた後に｢対応に着目した見方｣で性質を加えていく展開として丁寧に扱われている。反比例についても，比例と対応させながら理解しやすいよう構成されている。　＜例＞6年p.150-151，168-171 |
| ②技術的・技能的な教材においても，思考力を伸ばせるよう工夫されているか。 | ②技能面の定着を図る教材においても，思考力や判断力を伸ばせるよう配慮されている。 | ●計算技能においては，大きな計算間違いを防ぐ手立てとして，**数の大きさの感覚を働かせて正誤を判断すること（結果の見積もり）も適切に取り上げている**。　＜例＞2上p.26(だいちの吹き出し），30(ひなたの吹き出し）／4上p.49（ひなたの吹き出し）／5年p.186-187など  ●1～3年では**『買えますか？ 買えませんか？』で，概数や見積もりの素地**として，日常生活と関連のある品物がある金額で買えるか否かを判断する活動を通して大まかに数をとらえる力を養い，4年以上では**『見積もりを使って』で，概数・見積もりを活用して総合的な判断ができる**ように配慮されている。  ＜例＞1年p.160-161／2下p.64-65／3下p104-105／4下p.54-55／5年p.186-187／6年p.180-181  ●整数や小数・分数の計算では，その意味となる位取り記数法の仕組み，数や式の見方などが丁寧に示され，**計算の意味理解が深められる**ように配慮されている。  ＜例＞2上p.49-50／3下p.79／4下p.78／5年p.36-37／6年p.44　など |
| ③環境問題，食育，防災，ESDやSDGsなど今日的な社会問題への配慮がされているか。 | ③環境の保全，健康，防災などに寄与する態度を養うための教材が多数扱われている。 | ●『みらいへのつばさ』などで，**健康，環境保全，食育，国際協力，防災などの題材**が取り上げられている。  ＜例＞3下p.106-109（健康）／4下p.110-113（環境保全）／5年p.238-241（食育），p.157（防災），p.206-207（防災）／6年p.204-207（国際協力）など  ●統計の素材として，エネルギー統計や人口統計などが取り上げられている。  ＜例＞5年p.204-205（エネルギー）／6年p.82-83（人口） |
| ④地域的な偏りのない素材が選ばれているか。 | ④素材は，特定の地域だけを集中的に取り上げることがないように，広範囲にわたって選ばれている。 | ●教材として取り上げられた地域は全国にわたっている。  ＜例＞2上p.21／3上p.58，61，62，64，72／3下p.63／4上p.34-35，56，66，88，90，93，97／4下p.13-15，20-26，56，69，110-111／5年p.12-14，94，153，157，162-163，200，202，223，226，230／6年p.10-11，15，19，66，85，88-89，128，138，140-141，144-145，158，162など |
| 3  組  織  ・  配  列 | ①教科書で取り上げる指導時期について，領域全体のバランスや児童の発達段階，日常生活との関連などに配慮した配列になっているか。 | ①内容の系統性だけでなく，習熟に要する時間や季節などにも考慮した配列になっている。 | ●特に低学年では，**児童の興味の持続性を考慮**し，同一領域の内容が何単元も続かないように配慮されている。  ＜例＞2下「かけ算(1)」「かけ算(2)」→「三角形と四角形」→「九九のきまり」という配列など  ●類似内容が複数の単元に分けられ，**習熟の時間が確保**できるように配慮されている。　＜例＞5年「小数のかけ算・わり算」（1学期）→「割合」（2学期）→「割合のグラフ」（3学期）という配列など  ●**屋外での活動や水を使う教材は暖かい時期に設定**され，学年の始めは楽しく学習できる内容や教材の準備などに負担が少ない題材が取り上げられている。＜例＞1年p.86-87／2上p.88-93／3上p.99-102，122　など |
| ②後の学習に必要となる内容を事前にきちんと扱っておくなど系統的な配列になっているか。 | ②新しい内容を展開する際に必要な内容を明らかにし，系統性に配慮した単元配列になっている。 | ●1年では，たし算・ひき算にはいる前に『ふえたり へったり』で，実際に増減する数量について体験し，演算の意味がとらえやすいように配慮されている。　＜例＞1年p.38-39  ●2年では，3の段の九九の構成や59＋29＋43，36×6，250÷36などの筆算の際に不可欠となる18＋3のような計算を，基礎計算として，自然に念頭で処理ができるように筆算導入前に配置し，確実に定着できるように配慮されている。　＜例＞2上p.24-31  ●5年で『比例』単元が『小数のかけ算』単元の直前に設定され，小数のかけ算の式の意味が円滑に理解できるように配慮されている。  ＜例＞5年p.28-31  ●テープ図，線分図，数直線など，後の学習で必要となる図については，**『図をつかって考えよう』の中や巻末『算数資料集』で学年を追って系統的に扱われ，かき方も丁寧に説明されている**。  ＜例＞2上p.64-65／2下p.58-61／3上p.34-35／4下p.32-33　など |
| ③各領域の配分は適切に振り分けられているか。 | ③各領域の内容は，学習効果を上げられるように，ページ数，時間数ともに適切に分配されている。 | ●低学年では興味・関心の持続性を考慮して，1つの単元はできるだけ少ないページ数で構成されている。また，高学年では，関連する内容を連続させたり，同一の単元内で扱ったりすることで，関連づけながら理解できるようになっている。  ●習熟と定着がはかれるように，学期内に同一の領域が集中したり，特定の領域が抜けたりしないように，適切に分配されている。 |
| ④どこで，どんな内容を学習するかがわかりやすくなるよう配慮がされているか。 | ④目次では，単元名だけではなく既習との関連が示され，内容の見通しがつくようになっている。また，各時間には，めあてが設定され，学習すべき内容がわかりやすいように配慮されている。 | ●目次では，単元内容と，それに**関連する前学年までの既習事項が示され，系統をふまえて学習内容が概観できる**ようになっている。また，『これまでに学んだこと』『この本で学ぶこと』『学びのサポート』の3つの項目に分けられ，本の構成が視覚的にわかりやすく示されている。  ●各単元は，左ページから始まるようになっており，**『みんなで学ぼう』というタイトルで課題設定文を明示**することで，**児童が見通しをもって単元の学習に入れる**ように配慮されている。  ＜例＞2上p.24／3上p.10／6年p.42　など  ●各時間には，適宜，学習の『めあて』と『まとめ』が設定してあり，その時間に学習する内容を概観できるように配慮されている。  ＜例＞2上p.53／3上p.26／4下p.4／5年p.41／6年p.134-135　など |
| 4  分  量  ・  時  間 | ①児童に学力が確実に身に付くように，時間的な扱いについての配慮がなされているか。 | ①指導と児童の実態をもとに，知識の理解，技能の習得，思考力や表現力の向上が確実に図れるよう時間数やページ数の見直しがされている。 | ●例えば，以下のように時間数やページ数が変更されている。  【全体】『復習』を学期の中間と期末に計画的に配することで，全体の時間数の調整がはかられている。また，『わくわく算数ひろば』（活用単元）を学期末に位置づけて柔軟に扱えるようにするなど，カリキュラム・マネジメントにも配慮されている。  【1年】1年生の巻頭では，幼保小連携の観点からスタートカリキュラムに対応した【わくわく すたあと】を設定し，入学当初の学びを3段階に分けて構成している。＜例＞1年p. 表見返-17  【2年】『たし算とひき算のひっ算(1)』『たし算とひき算のひっ算(2)』では，ページを増やして『計算のしかた』を図的にわかりやすく表現したり，ノート例を入れたりして充実がはかられている。＜例＞2上p.48-61  【3年】『あまりのあるわり算』では，つまずきの多い『あまりを考えて』のページ数と時間数が増やされ，丁寧に扱われている。＜例＞3上p.111-112  【4年】『折れ線グラフ』は，理科の学習で使えるように指導時期が早められ，複数系列のグラフ（2本の折れ線グラフ）や組み合わせたグラフ（棒グラフと折れ線グラフ）に関する内容が新設されている。また，『割合』単元が新設され，5学年の割合の学習につながる整数倍の簡単な割合が，関係図のかき方とともに丁寧に扱われている。  【5年】『比例』『小数のかけ算』『小数のわり算』は，つまずきの多い「小数の乗除の意味理解」への対策として，『比例』単元の新設，「純小数（1より小さい小数）」の扱いの強化など，内容が大幅に見直されている。  【6年】『文字と式』は，ページ数と時間数を増やし，センテンス型の式（y=ax+b等）への過程が丁寧になるように，フレーズ型の式（ax+b等）もしっかりと扱っている。 |
| ②練習や復習問題の分量は適切か。 | ②練習，復習を計画的に設けることにより，基礎的・基本的な内容の習熟を図れるように配慮されている。 | ●**『練習』『復習』を計画的に設定**し，各学年20～30時間程度の時間をあて，学習内容の理解の定着と知識の持続が図れるように配慮されている。  ●各巻末には『じゅんび』や『もっと練習』が設けられ，適宜柔軟に時間を使って補えるように配慮されている。 |
| ③指導時数や発達段階に照らして，全体の分量は適切か。 | ③繰り返し練習や復習，補充的・発展的な学習などの時間も確保できるように，標準指導時数よりも余裕をもたせた分量で構成されている。 | ●年間配当時数を160時間以内（1年は126時間）とし，標準時数よりも余裕をもたせた分量で構成して，**繰り返し練習や復習，補充的・発展的な学習などを確保できる**ように配慮されている。  ＜例＞1年：127時間／2年：156時間／3年160時間／4年160時間／5年：158時間／6年：140時間 |
| ④実際の授業を想定した紙面構成がされているか。 | ④実際の授業を想定し，1時間の分量や授業の区切りなどを考慮して紙面が構成されている。 | ●1単位時間の授業の分量が勘案され，**授業の区切りがページの途中にこない**ように配慮されている。  ●時間毎にテーマとなる主問題[■]，めあてとまとめ，練習問題[**△**]を設定して，学習の流れがとらえやすいようになっている。 |
| 5  創  意  ・  工  夫 | ①児童の興味・関心を喚起し，学習意欲を起こさせる工夫がされているか。 | ①児童の身近な事象や活動的な題材，既習とのつながりなどを積極的に取り上げ，児童の関心・意欲を引き出し，主体的な学習を促す様々な工夫がされている。 | ●〈ひなた〉，〈だいち〉など児童といっしょに学んでいく児童キャラクターが設定され，そのつぶやきや発言に児童が共感しながら，考える際のヒントにもなるように工夫されている。  ＜例＞1年p.89／2上p.88／4下p36／5年p.134-135　など  ●めあてにつながる児童キャラクターの発言には，『双葉マーク学びのめばえ』が添えられて，学習の流れがつかみやすくなっている。  ＜例＞2上p.88／4下p.36／5年p.134-135　など  ●ヒントや考え方の方向を示すキャラクター〈えんぴつくん〉が，児童の活動を援助し，学習意欲を喚起させるよう工夫されている。  ＜例＞2年上p.7／3上p.31／4年上p.37など  ●児童の生活経験や算数の学習経験を重視した素材や活動的な題材が取り上げられ，児童が興味・関心をもてるように構成されている。また，社会，理科，家庭科，体育などの他教科に関連した素材も取り上げられている。＜例＞1年p.22-23（いす取りゲーム）／2下p.42-43（動物囲み）／3上p74-77（すきな遊び調べ）／4上p.26-27（気温の変化）／5年p.100（試合の組分け）／6年p.112-113（オーロラソースづくり）　など  ●素材は写真やイラストなどを用いて児童が楽しく学習できるように工夫されている。  ＜例＞2上p.10-11／2下p.42(141)／3上p116-117／4下p.20-21／5年p.10／6年p.10-11など  ●活用のページ『わくわく算数ひろば』では，児童の知的好奇心をくすぐり，主体的に探究活動にとりくめるように配慮されている。  ＜例＞3上p.92-95／5年p.92-97，186-187／6年p.202-207　など  ●巻末の『学びのサポート』では，児童の興味・関心に応じて自主的に取り組むことのできる内容が取り上げられている。　＜例＞2年上p.121-141／2下p.121-135／3下p.115-135／4上p.139-168／5年p.247-296／  6年p.249-292　など |
| ②具体的な操作を行う活動などの数学的活動を通して理解できるように工夫されているか。 | ②巻末に切り取り教具や算数資料集が掲載され，児童が操作を通して，実感を伴った理解ができるように配慮されている。 | ●児童が操作する活動を想定した箇所には写真を掲載し，具体的操作がイメージできるように構成されている。  ＜例＞1年p.30-31，82-87／2上p.92／2下p.80-84／3上p.122／4下p.86／5年p.155，195／6年p.14，18　など  ●**巻末の切り取り教具を使った操作活動を通して実感を伴った理解ができるように工夫**されている。  ＜例＞2下 九九の円盤／3上 てんびん／4上 分度器／5年 円周測定マシーン　など |
| 6  絵  図  ・  写  真  な  ど | ①児童の理解にふさわしい挿絵や図，写真などが効果的に使用されているか。 | ①実生活の様々な事象を提示する場面や児童に活動を促す場面では，積極的に写真を用いて臨場感を高められるように配慮されている。 | ●作業や調査などの活動の場面では，**児童が生き生きと活動している臨場感のある写真が効果的に使用**され，活動がイメージしやすいように配慮されている。　＜例＞1年p.22，70，82-87／3上p.116-117　など  ●単元の導入時など効果的な場面では，生活に密着した身近な題材がダイナミックなカラー写真や絵で提示されている。　＜例＞2上p.10-11／3上p58／5年p.150／6年p.128　など  ●挿絵は，児童が興味をもち楽しい活動がイメージできるように，また，問題の理解や解決に役立つヒントになるように，学年の発達段階を考慮しながら様々なタッチのものが採用されている。  ＜例＞1年巻頭／2上p.88／4上p.54／5年p.100　など |
| ②児童の思考の拠り所となる基礎操作や図などについても発達段階をふまえて系統的に扱われているか。 | ②基礎操作や問題解決に有効にはたらく図についても，学年を追って系統的に扱われている。 | ●数や計算の意味理解のために，20までの数については，数図ブロックを基本とし，具体物・半具体物・数字の関係をとらえながら数観念が身につくように配慮されている。一方，記数法的な見方が必要となる大きな数については，計算棒で束をつくる・くずすという操作と繰り上がり・繰り下がりとを対応させながら数や計算の理解ができるように配慮されている。  ＜例＞1年p. 67（数図ブロック）／1年p.130-133，2上p.25-31，49-56，103-109　など  ●数の相対的な大きさに着目させたい場面では，児童が個数に着目した相対的な見方がしやすいように，貨幣や紙幣が取り上げられている。  ＜例＞1年p.139／2上p.79／2下p.93／3上p.31／3下p.23／4上p.49，115　など  ●問題解決の際に有効にはたらくテープ図・線分図・関係図・表などのかき方については単発的に扱うのではなく，おもに**『図をつかって考えよう』（思考法）単元の中で段階を追って系統的に扱われ，巻末の『算数資料集』にまとめられている**。  ＜例＞2上p.64-65，114-117，2下58-61／3上p.34-37／3上p.98-99／4下p.87-90　など  ●**演算決定の際などに用いる数直線が系統的に扱われており，そのかき方は，本文や巻末に詳しく記載されている**。  ＜例＞1年p.140-141／2上p.80-81／3下p.44-45／4下p.34-36／5年p.52-58，284-285／6年p.42-45，280-281　など  ●考えやすい図は児童によって異なるため，テープ図，線分図，関係図，数直線図，表など様々なものが扱われ，特定のものだけに偏らないように配慮がされている。 |
| ③引用されている資料は正確で新しいものが使われているか。 | ③統計資料は可能な限り最新のものが使用されている。 | ●教材として取り上げてある統計資料・写真については，児童に馴染みやすくて算数科の指導目標に合った正確で新しいものが使用されている。  ＜例＞4上p. 34-35，54／5年p.200／6年p.82-83　など |
| 7  表  記  ・  表  現 | ①文章表現は，読みやすく，意味がとらえやすいようになっているか。 | ①意味がとらえにくい表現，色々な意味にとれるあいまいな表現は避け，正確で丁寧な文章表現になっている。 | ●文章表現については，**国語教育・言語力の専門家の監修のもと，読みやすく意味がとらえやすいように配慮**されている。  ●文章の改行位置を意味の区切りで行い，読みやすさに配慮されている。  ●教科書で取り上げられた定義は，児童の発達段階を考慮して，数学的な厳密性よりも直観的にとらえやすく，わかりやすいものが採用されている。  ＜例＞3下p.5「円」／4年上p.119「割合」など |
| ②漢字や仮名遣い，アルファベットなどの扱いは国語科や英語科との関連が配慮されているか。 | ②当該学年の配当漢字までが扱われており，見開きの初出にふりがながふられている。 | ●漢字は原則として当該学年までの配当漢字を扱い，見開きの初出にふりがながふられている。  ＜例＞2上p.10，11（「何」「人気」にふりがな）など  ●算数用語には配当学年に関わらず，必要に応じてふりがながふられている。なお，カタカナは1年の3学期以降で使用されている。  ●アルファベットは4年以降で使用されているが，2，3年でも指導する量の単位の書き方はアルファベット指導との関連を考慮して，丁寧に記述されている。 |
| 8  印  刷  ・  造  本 | ①文字，挿絵，写真など，色彩は鮮明に印刷されているか。 | ①文字の大きさや字体，行間などは児童の発達段階を考慮して読みやすいように配慮されている。また，印刷は鮮明で，色彩については，目に優しい中間色が基調になっている。 | ●文字は国語科との関連も考慮して教科書体を基本とし，**ボディが広くてよみやすい肉厚の字体（ユニバーサルデザインフォント）が使われている**。算数用語など強調する太字体についても書写指導と食い違いが起こらない字体が採用されている。  ●文字の大きさは，児童の発達段階を考慮して，低学年ほど大きく高学年になるにつれて徐々に小さくなっている。また，文字間や行間もよみやすく設定されている。  ●挿絵や写真の上に文字が重なる場合は，文字の背景やまわりを白くするなどの処理を施してよみやすくなるように配慮されている。  ●色使いについては，**カラーユニバーサルデザイン（CUD）の観点から，見分けることが困難な配色を避け，色だけで判断するような問題は取り上げないなどの配慮**がされている。 |
| ②用紙・製本は使いやすい配慮がされているか。 | ②用紙・製本は，実際に児童が教科書を使って様々な活動をすることを考慮し，堅牢で使いやすい工夫がされている。 | ●多様な児童の取り扱いや長期間の使用に耐え得るように，きわめて堅牢に製本されている。  ●測る，書き込むなど，教科書を使った作業がしやすいように，**ページを左右いっぱいに開くことのできる，あじろ綴の製本形式が採用**されている。  ●表紙・裏表紙には汚れにくくて丈夫な加工がされている。裏表紙の氏名欄は，鉛筆でも書き込みやすい加工がされている。  ●1年巻頭『わくわく すたあと』では，**書き込んだり消したりしやすいように，特別な用紙が使われている**。  ＜例＞1年表見返～p.17  ●**巻末の切り取り教具には，場面に応じて，丈夫な厚紙や透ける薄紙，プラスチック素材などが使用**され，児童が活動しやすくなっている。  　＜例＞3上 てんびん／4上 分度器／5年 円周測定マシーン／6年 対称な図形　など |
| ③紙面構成はよみやすい配慮がされているか。 | ③紙面にゆとりを持たせ，よみやすくわかりやすいように配慮されている。 | ●紙面を文字でぎっしり埋めず，写真や挿絵などを有効に活用したり，かき込みスペースを設定して余白を十分に確保したりするなど，視覚的に内容をとらえやすくなるように配慮されている。 |
| ④環境やアレルギーに対する配慮はされているか。 | ④用紙・印刷において，環境やアレルギーなどに配慮されている。 | ●**環境に優しい再生紙や化学物質をおさえた植物油インキを使用**するなど，環境問題やアレルギー問題に配慮されている。 |
| ⑤教科書の重さについて配慮がされているか。 | ⑤用紙・印刷において，軽量化に配慮されている。 | ●**軽量で裏写りせず，印刷が鮮明な本文用紙を採用**するなど，教科書の軽量化に配慮されている。 |